

空港・拠点都市へ プロジェクトチー

南国市は空港対策と地方拠点都市の地域指定へ向けてのプロジェクトチームを発足。七月六日、企画課入口に空港対策本部（大町行治会長）の事務局の看板を掲げました。

空港対策本部は、すでに田村地区を中心とする地権者などが高知府審査拡張対策協議会（末政博会長）を結成しており、営農対策や騒音対策など、地権者や市民の立場に立つた市政の窓口としてスタート。

また、南国・香美地方拠点都市地域指定推進協議会の事務局は、早期の地域指定を受けるため、今までの発想とは違った、従来の行政単位では取り組めないスケールの大きな構想で、加盟市町村との連絡調整やプランの具体化に着手します。



ほ場整備シリーズ②

区画の大きさと道水路の配置はどうすればいいか

区画とは耕地の一筆のことといいます。

区画の形状、大きさを決める場合、いろいろの条件を配慮して決める必要があります。一般的には営農機械の作業能率を上げるために、区画は大きいほどよいのです。しかし、水のかけひき（用排水管理）とか防除作物の能率などから、区画は小さいほどよいことになります。

群衆いえ、一般用排水は区画の短辺にそわせて配置しますから、用排水の到達距離は長辺の長さとほぼ等しくあります。群衆いえ、一般用排水は区画の短辺にそわせて配置しますから、用排水の到達距離は長辺の長さとほぼ等しくあります。

道路の構造はどうなっているか

幅員

整備後の道路は耕区（一筆）ごとに全部道路が接することになりますが、幅員は、大型機械の通行が可能なように、主線は四メートル、幹線道路は五メートル程度が標準となっています。

道路の交差点には、いわゆる角切りをした方が便利です。

五メートル程度のことで、車や営農機械は、はるかに曲がりやすくなります。

高さ

ほ場面と道路の路肩までの高

なりますが、長辺が長くなればなるほど用排水の到達時間が長くなり、いわゆる水のかけひきが悪くなることがあります。特に転作、裏作などを行う場合排水が悪いことは最も好ましいことです。

このように、営農機械の能率、水のかけひき、防除等の条件を総合的に考えて高知県の場合は、一応長辺七五メートル四〇メートルの三〇アール区画を標準区画としています。

しかし、すべての地区についてこの標準区画を規定しているわけではありません。地形、傾斜、土質そしてほ場整備後どのような管

さは、道路の保全の点からは高い

ほど良いが、道路からほ場への機械の出入りとか、通風などを考慮し一般には三〇メートル五〇メートル程度が標準となっています。

道路面からほ場面まで高低差がある場合は現場の状況に応じて進入路を設けます。

舗装

アスファルト舗装は幹線的なものだけしか認められておらず、ほとんどの砂利舗装となります。

せっかく巾の広い立派な道路を作つても草ボウボウのテコボコだけでは意味がありません。

事業完了後は地元で管理をしてもらうことになりますので、ちょっと



典をするのが、また生活環境上からの道路とか排水はどうするのかというような地区特有の条件、さらに、工事費は高くなりすぎないなどを加味しながら区画の大きさ、道水路の配置を決める必要があります。